

日本社会情報学会通信

Vol.18 No.1 2002.12.15

日本社会情報学会

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-31-24 信田ビル

TEL 03-3795-8511 FAX 03-3795-9911

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

会 長 挨拶

【平成15(2003)年度事業計画の方針と役員体制】

日本社会情報学会 会長 清原 慶子

平成14(2002)年度は、皆様のご協力により、大過なく学会の活動を行うことができましたことを感謝申し上げます。第17回全国大会を節目に私の会長の任期も後半を迎えました。

平成15(2003)年度も皆様のご協力と積極的な学会諸活動へのご参加をお願いいたします。

<平成15(2003)年事業計画の方針>

1. 学会の特色である「産官学民」及び他学会との研究交流の継続と拡充の推進。
2. 各委員会の主体的な運営を基盤とするフラットで活発な組織の運営。
3. 副会長と常任委員長との協力によるコーディネート体制による、各委員会活動の活性化。
「行事委員会」の名称を「企画委員会」として企画力の強化を図り、現地研究会は、定例研究会の中に含めて総合的に企画運営を図る。
4. 支部活動の強化。
5. 学会誌の定期的発行の徹底。
6. 会員間の専門領域を超えた共同研究の促進。
学会誌・ホームページ等を活用して、研究部会等の活動内容を共有し、研究の深化を図る。
7. 会員増加に向けての適切な広報活動の強化。
8. 学会に関する情報提供とコミュニケーションを促進するための、学会ホームページの拡充。
9. 学会大会実行委員会体制の充実・強化。
10. 理事会・評議員制度の充実に向けた見直し。
11. 学会活動全体の活性化に資する方策についての理事会・会員の意見提言の積極的反映。

<平成15(2003)年度役員体制> (敬称略)

会 長 清原 慶子

副会長 太田 敏澄：総務委員会担当

須藤 修：行事(企画)委員会担当

遠藤 薫：学術委員会担当

常任委員長

総務委員長：根本 敏則(委員長代行 武藤茂副委員長)

企画委員長：福田 豊

表彰委員長：小菅 敏夫

学術委員長：遠藤 薫 *兼任

常任理事：前田 隆正

事務局長：平林 幹朗

□ 第 17 回 日本社会情報学会全国大会報告 □

大会実行委員長 田中 善一郎

大会事務局 遠藤 薫

統一テーマ 『環境としての情報空間 — その課題とデザイン —』
 日 時 2002年9月26日(木) 10:00~17:30
 9月27日(金) 10:00~17:30
 会 場 東京工業大学 大岡山キャンパス

2002年9月26、27日の両日に開催された第17回日本社会情報学会全国大会は、256名の参加者を集め、盛況のうちに幕を閉じました。

基調講演、特別講演、基調シンポジウム、自治体ワークショップ、一般研究報告のいずれも内容の濃い、実り多いものでした。これもひとえに会員皆さまの熱意の表れと存じ、深く感謝致します。

また、本大会にご協賛戴きました団体・企業の方々に心より御礼申し上げます。

第18回全国大会へ向けて、また新たな歩みをはじめたいと存じます。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

[開催内容]

【1日目 9月26日】

10:00	1. 開会セレモニー (西9号館2F デジタル多目的ホール) 「開会挨拶」
10:05	大会実行委員長 田中 善一郎 (東京工業大学社会理工学研究科長)
10:05	基調講演 (西9号館2F デジタル多目的ホール) 司 会：太田 敏澄 (電気通信大学) 「情報リゾーム社会—意味の文明へ—」 今田 高俊 (東京工業大学大学院教授) 「サービス品質の重要性と生命体経営のすすめ」 藤田 史郎 (NTTデータ 相談役)
12:00	
12:00 13:00	昼食休憩
13:00 14:00	会員総会 (西9号館2F デジタル多目的ホール)
14:05	基調シンポジウム (西9号館2F デジタル多目的ホール) 「環境としての情報空間」 コ-ディネ-タ：遠藤 薫 (東京工業大学) パネリスト：清原 慶子 (東京工科大学) 須藤 修 (東京大学) 伊藤 守 (早稲田大学) 恒松 直幸 (NTTデータ システム科学研究所) 久保田 文人 (通信総合研究所) コ-メンテ-タ：富山 慶典 (群馬大学) 木村 忠正 (早稲田大学)
16:35	

14:05	自治体ワークショップ(1) (西9号館2FコラボレーションルームA) 自治体事例発表(1)「市町村合併と業務・システム統合」 司会者:戸谷 寿夫(羽曳野市) 事例発表□:さいたま市 事例発表□:兵庫県篠山市 事例発表□:宮城県中新田町
16:35	コメント:茶谷 達雄(都市情報システム研究所)
16:40	特別講演 (西9号館2Fデジタル多目的ホール) 司会:須藤 修(東京大学)
17:30	講演「電子自治体の実現と地方行政の将来像」 猿渡 知之(総務省自治行政局自治政策課情報政策企画官)
17:40 20:00	交流懇親会 (西9号館2Fメディアホール)

【2日目 9月27日】

10:00	研究発表 (A1) (西9号館2FコラボレーションルームA) 座長:小菅 敏夫(電気通信大学) コメンタ:兼田 敏之(名古屋工業大学) 研究発表:「中国政治の多面性におけるインターネットの導入について」 発表者:李 瑩玉(電気通信大学) 研究発表:「電子民主主義における決定と討議と情報について —意思決定科学の立場からの研究課題—」 発表者:富山 慶典(群馬大学) 研究発表:「インターネットの普及に伴う政治参加構造の変化に関する研究」 発表者:杉岡 賢治・佐藤 哲也(東京工業大学)・ 内藤 孝一(NTTデータ) 研究発表:「価値判断様相を利用した争点抽出のためのソフトウェア試作」 発表者:小橋 洋平・佐藤 哲也・坂野 達郎(東京工業大学)
12:00	研究発表 (A2) (西9号館2Fメディアホール) 座長:島田 達巳(摂南大学) コメンタ:木嶋 恭一(東京工業大学) 研究発表:「イノベーションシステムとしての産学官連携の研究」 発表者:安田 耕平(電気通信大学) 研究発表:「組織における情報化とオルト・エリートの役割について」 発表者:桃塚 薫(東京工業大学) 研究発表:「長期経済成長と技術革新の組織的マネジメント」 発表者:榊 俊吾(東京工科大学) 研究発表:「企業内イントラネットと組織コミュニケーション」 発表者:駒橋 恵子(多摩美術大学)
10:00	研究発表 (A3) (西9号館2FコラボレーションルームB) 座長:刀川 眞(NTTデータ) コメンタ:奥原 英彦(日本総合研究所) 研究発表:「携帯メールを用いた幼稚園・保育園バス位置報知システムとその評価」 発表者:新谷 公郎(常盤会短期大学)・井上 明(甲南大学)・ 金田 重郎(同志社大学)

12:00	<p>研究発表：「デジタル地図を利用した地域情報の提供手法に関する研究」 発表者：山本 佳世子（滋賀県琵琶湖研究所）</p> <p>研究発表：「都心商業地域を歩行する消費者類型の推定～福岡市大名地区における立ち寄り店舗シーケンスデータに基づく分析事例～」 発表者：山下 洋平・五十嵐 寧史・齋藤 参郎・山城 興介・岩見 昌邦・木口 知之（福岡大学）</p> <p>研究発表：「自治体GISの簡単で安価な導入と活用に関する実証研究」 発表者：新川 達郎（同志社大学）・青木 和人（宇治市役所）</p>
10:00	<p>研究発表（A4）（西9号館プレゼンテーション演習室） 座長：福田 豊（電気通信大学） コメンタ：松本 安生（神奈川大学）</p> <p>研究発表：「インターネット上における医療情報のあり方に関する考察」 発表者：中村 直行（東京大学）</p> <p>研究発表：「インターネット上における自治体行政評価結果の公開とその課題」 発表者：新川 達郎（同志社大学）・藤本 吉則（東北大学）</p> <p>研究発表：「電子自治体に対する地方自治体の取り組みと住民ニーズの分析～新潟県における実態調査をもとに～」 発表者：山口 直人・草瀬 美緒（新潟国際情報大学）</p>
12:00	<p>研究発表：「東海地域における「生活情報化指標」に関する一考察」 発表者：藤田 優子・三友 仁志（早稲田大学）</p>
10:00	<p>自治体ワークショップ（2）（西9号館デジタル多目的ホール） 自治体事例発表（2）「電子都道府県庁推進と都道府県域全体の情報化政策」 司会者：尾関 敬二（練馬区）</p> <p>事例発表□：東京都 事例発表□：三重県 事例発表□：岐阜県</p> <p>コメント：茶谷 達雄（都市情報システム研究所）</p>
12:00	昼食休憩
13:00	<p>研究発表（B1）（西9号館2FコラボレーションルームA） 座長：根本 敏則（一橋大学） コメンタ：山本 佳世子（滋賀県琵琶湖研究所）</p> <p>研究発表：「住民参加型地域コミュニティサイト構築に向けての課題」 発表者：米沢 邦彦（電気通信大学）</p> <p>研究発表：「インターネットにおける新しい公共圏創出の可能性 —電子新聞の位置づけとその地域的特性を中心にして—」 発表者：金 相集（東京工業大学）</p>
14:30	<p>研究発表：「ICTを用いた行政への市民参加の可能性」 発表者：内藤 孝一（NTTデータ）</p>
13:00	<p>研究発表（B2）（西9号館2Fメディアホール） 座長：山中 守（熊本大学） コメンタ：山口 直人（新潟国際情報大学）</p> <p>研究発表：「地方自治体の情報システムの共同開発組織運営」 発表者：大谷 二郎（日野市役所）</p> <p>研究発表：「共同方式による電子自治体の実現 — 共同（共同開発・共同運営）方式の課題と解決へのアプローチ —」</p>

14:30	<p>発表者：鶴飼 浩仁（電子自治体・自治体A S P 研究家）</p> <p>研究発表：「住民台帳の歴史的考察とその変化法則」</p> <p>発表者：茶谷 達雄（都市情報システム研究所）</p>
13:00	<p>研究発表（B3）（西9号館2FコラボレーションルームB）</p> <p>座長：太田 敏澄（電気通信大学）</p> <p>コメンタ：佐藤 哲也（東京工業大学）</p> <p>研究発表：「ナレッジマネジメントを導入した、地方自治体における政策決定支援システム」</p> <p>発表者：太田 康嗣・神吉 正和・山本 辰久（日本総合研究所）</p> <p>研究発表：「Know・Who マネジメント支援のフレームワークに関する新提案」</p> <p>発表者：竹端 和歩（北陸先端科学技術大学院大学）</p>
14:30	<p>研究発表：「情報ネットワークを活用した情報管理システム」</p> <p>発表者：廣田 伝次郎（自治体情報研究所）</p>
13:00	<p>研究発表（B4）（西9号館2Fプレゼンテーション演習室）</p> <p>座長：半田 正樹（東北学院大学）</p> <p>コメンタ：兼田 敏之（名古屋工業大学）</p> <p>研究発表：「情報通信技術を活用した求車求貨システムの現状と課題」</p> <p>発表者：味水 佑毅（一橋大学）</p> <p>研究発表：「改革開放の中国における商品広告の役割」</p> <p>発表者：叶 飛（東京工業大学）</p> <p>研究発表：「産業/企業におけるIT（情報技術）導入の効果とその計測」</p> <p>発表者：廣松 毅（東京大学）・小林 稔（和光大学）・坪根 直毅・栗田 学（大和総研）・大平 号声（東京国際大学）</p>
14:30	休憩
15:00	
15:00	<p>研究発表（C1）（西9号館2FコラボレーションルームA）</p> <p>座長：廣松 毅（東京大学）</p> <p>コメンタ：野口 秀行（日本インテリジェントトラスト）</p> <p>研究発表：「地域のコミュニティネットワークによる共生型新エネ促進事業方式の創出に関する研究」</p> <p>発表者：佐藤 健実・吉川 榮和（京都大学）</p> <p>研究発表：「地域通貨試論—地域通貨銀行の役割—」</p> <p>発表者：志村 朋紀（早稲田大学）</p> <p>研究発表：「商店街活性化のヒント A Hint for Prospering Shopping Streets」</p> <p>発表者：伊原 久光（東洋学園大学）</p>
16:30	
15:00	<p>研究発表（C2）（西9号館2Fメディアホール）</p> <p>座長：新川 達郎（同志社大学）</p> <p>コメンタ：五藤 寿樹（聖徳大学）</p> <p>研究発表：「規制緩和と通信産業の変化、東南アジアにおける比較研究」</p> <p>発表者：Rudi Lumanto（電気通信大学）</p> <p>研究発表：「中国の社会情報化を推進する国家政策についての考察」</p> <p>発表者：劉 継生（創価大学）</p> <p>研究発表：「新しい国際交流を目指す中国語によるインターネット放送局」</p> <p>発表者：蔡 佩玉・坂井 滋和（早稲田大学）</p>
16:30	
15:00	<p>研究発表（C3）（西9号館2FコラボレーションルームB）</p> <p>座長：佐藤 佳弘（情報文化研究所）</p> <p>コメンタ：中嶋 聞多（信州大学）</p>

16:30	<p>研究発表：「インターネット上のコミュニケーションツールの現状と課題」 発表者：西野 典秀（電気通信大学）</p> <p>研究発表：「インターネットによる宗教法人（寺院）の情報受発信に関する研究」 発表者：亀野 哲也・坂井 滋和（早稲田大学）</p> <p>研究発表：「情報技術の進展が物流業に与えた影響に関する研究」 発表者：中村 理史（電気通信大学）</p>
15:00	<p>研究発表（C4）（西9号館2Fプレゼンテーション演習室） 座長：富山 慶典（群馬大学） コメンタ：土場 学（東京工業大学）</p> <p>研究発表：「ネットワーク時代における人間行動の変化に関する分析」 発表者：平本 一雄・村上 文洋・橋本 岳・横山 宗明・篠田 徹 （三菱総合研究所）</p> <p>研究発表：「デジタルミュージック・クリエイターのアイデンティティ」 発表者：石井 一生（東京工業大学）</p> <p>研究発表：「ウェブマイニング技術にもとづく社会情報学に関する研究動向の分析」 発表者：石田 和成（社会構造計画研究所）・太田 敏澄（電気通信大学）</p>
16:30 17:00	休憩
13:00	<p>自治体ワークショップ（3）（西9号館2Fデジタル多目的ホール） 「組織改革とコンピテンシーマネジメント」 座長：須藤 修（東京大学） パネリスト：潮田 邦夫（NTTドコモ） 森 勝彦（ニデコビジネスソフト） 馬男木 賢一（三鷹市） 廣川 聡美（横須賀市）</p>
17:00	
17:05	<p>大会総括（西9号館2Fデジタル多目的ホール） 清原 慶子（東京工科大学）</p>
17:20	
17:20	<p>1. 閉会セレモニー（西9号館2Fデジタル多目的ホール） 「会長挨拶」 会長 清原 慶子</p>
17:30	<p>2. 「次回大会開催校挨拶」 東京工科大学</p>

第18回全国大会（開催予告）

日 時 2003年10月10日（金）11日（土）

会 場 東京工科大学

第5回研究発表賞

<第17回全国大会研究発表>

学術委員会

表彰委員会

2002年9月26日・27日に行われた第17回日本社会情報学会での一般研究報告のなかから、座長およびコメンテータの評価と大会参加者の投票にもとづき、下記の4件に対して日本社会情報学会大会研究発表賞を授与することとし、理事会の承認を得ました。

その結果をご報告いたしますとともに、その栄誉をたたえ、研究発表論題をここに掲載いたします。

受賞者の方々には、次回大会の総会におきまして、会長より賞状を授与いたします。

(敬称略)

発表表題	「インターネット上における医療情報のあり方に関する考察」
発表者	中村 直行(東京大学大学院 学際情報学府)
発表表題	「産業/企業におけるIT導入の効果とその計測」
発表者	栗田 学(株大和総研 主任研究員)
発表表題	「電子自治体に対する地方自治体の取り組みと住民ニーズの分析」
発表者	草瀬 美緒(新潟国際情報大学 非常勤助手)
発表表題	「インターネットにおける新しい公共圏創出の可能性」
発表者	金 相集(東京工業大学社会理工学研究科 博士課程)

* 受賞者の発表要旨は、「第17回全国大会研究発表論文集」に掲載。

第18回全国大会研究発表募集のお知らせ

学術委員長 遠藤 薫

第18回全国大会におきます研究発表を下記の要領により募集いたします。

研究発表は、1件につき30分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

第18回全国大会におきます研究発表につきましては、10月下旬に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第6回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第5回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご覧下さい。

多数の皆様の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日	時:	2003年10月10(金), 11日(土)
場	所:	東京工科大学(八王子キャンパス) 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1
発表申込締切:		2002年5月30日(金)
論文集原稿締切:		2002年7月18日(金)
大会事務局:		東京工科大学研究管理部

(1) 発表申込要領

1. 別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、そのコピー1部(計2部)とともに、返送先宛名を記入した封筒(採否結果通知、および採用の場合の学術情報センター登録用紙原稿送付用封筒・130円切手貼付)を同封し、**下記宛**ご送付ください。

〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-31-24 信田ビル 日本社会情報学会・事務局内
日本社会情報学会研究発表プログラム委員会

2. 研究発表プログラム委員会による検討の後、発表の採否結果を手紙でお知らせいたします。なお、必着期限を過ぎた申し込みは、準備の都合上検討対象から除外させていただきますのでご了承ください。

(2) 研究発表論文原稿執筆要領

(a) 原稿作成について

1. A4版、6ページで図表を含みます(6ページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください)。マージンは上端25mm、下端および左右20mmで作成してください。版組みなどは自由です。
2. 送付された原稿はB5版に縮小し、写真製版します。
3. 原稿の1ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、英文アブストラクト(100語以内)」の順でお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に印を付して下さい。
4. 原稿の下に薄く鉛筆でページ番号を記入して下さい。

(b) 原稿の送付について

1. 必着期限(7月18日)を過ぎた場合には、発表を棄権したものとみなします。
2. 原稿とそのコピー1部(計2部)、原稿の電子ファイル(WORDファイルまたはPDFファイル)および受領確認のための返送用宛先を記入した官製はがきを同封してください。
3. 送付先は発表申込時と同じです。

以上

*** 5月30日(金)必着**

日本社会情報学会

第18回全国大会研究発表申込書

発表申込者連絡先

会 員 名		
所 属		
住 所	(勤務先・自宅) 〒	
連 絡 先	TEL	FAX
	e-mail	

論題・発表者・発表用機器

論 題		
ふりがな 発表者氏名(所属) *当日の発表者に を付す	1	2
	3	4
使用機器(機器を使用する場合いずれかに を付す) 1. 液晶プロジェクタ(パソコン, 同付属のコネクタはご持参下さい) 2. その他(上記以外の機器をご使用希望の場合には, 大会事務局にご相談下さい)		

要 旨(200字以内・なるべく手書きはお避け下さい)

* キーワード(5つ程度、必ず記入)

*** 本学会通信は、全文ホームページに掲載されますので、ダウンロード出来ます。**

平成14年度総会報告

日 時 平成14年9月26日(木) 13:00~14:00
会 場 東京工業大学(西9号館 デジタル多目的ホール)

[開催次第]

司 会 武藤茂理事(総務委員会副委員長)

- 1 会長挨拶。
清原慶子会長より、基本的方針を説明。
- 2 議長の選出。
定款31条により、清原会長が議長となる。
- 3 総会の成立。
平林事務局長より、定款第33条にもとづき、正会員数490名のうち、出席会員40名、委任状提出会員141名であり、正会員の1/4を超えているとの報告により、本総会は成立した。
- 4 議事。
審議にあたり、書記(味水佑毅氏) 議事録署名人(小林登氏、柚木憲二氏)を指名され承認された。

下記の各議案につき、議長、各常任委員長、事務局より報告と提議がなされ原案通り承認した。

第1号議案 平成14年度 事業報告。

第2号議案 平成14年度 収支決算。(仮決算)

第3号議案 平成15年度 事業計画。

第4号議案 平成15年度 収支予算。(仮予算)

第5号議案 常任委員会の名称変更。
行事委員会を企画委員会と名称変更。

第2号議案は、9月末で、最終決算を行い、監査人の承認を受け、学会通信(Vol.18-1)にて報告する。最終決算により、第4号議案も変更する。

* 各承認議案の内容は、次頁以降に掲載。

<平成14年度学会賞の表彰の実施>

* 表彰者および内容は、本学会通信へ別記してあります。

【第1号議案 平成14年度事業報告】**【総務委員会所管】** (委員長 根本 敏則)

1. 総務委員会の開催 開催 3回(12/20、2/28,6/7)
定例会議の運営、会員管理、収支予算、会費徴収状況、規則、他 検討審議、理事会提案
2. 定例会議の企画、運営。
会員総会 1回(9/26)
理事会 6回(11/27、1/29,3/11,6/13,7/23,9/12)
評議員会 1回(3/11)
常任理事会 1回8/30)
3. 学会通信の発行。
3回発行 Vol.17-1(12月15日) Vol.17-2(4月1日) Vol.17-3(9月10日)
4. ホームページ部会 部会開催 3回(12/20、2/28,6/7)
*今年度より、専門部会として新設。
掲載内容・仕組み、内容充実策検討、リンク等
5. 財務管理。
・会費の徴収。(未納者への督促強化)
・平成14年度収支決算、平成15年度収支予算作成。
*別記、2号議案、4号議案に明記。
6. 名簿の作成。
4月に作成。ただし、その後、150会員より、移動等があり、改めて修正の上配布予定。
7. 会員管理。
・平成14年度会員増減

種 類	入 会	退 会	資格停止	増減予測
個人正会員	44	8	*1 56	20名減
団体正会員	3	5	*2 4	6団体減
準会員	3	0	0	3増
計	50	13	60	23減

*1、*2: 3年間会費未納会員

・会員数推移

種 類	13.9	14.9	増 減	備 考
個人正会員	449	429	20名減	宛先不明17含む
団体正会員	67	61	6団体減	
準会員	3	6	3増	
計	519	496	23減	

8. 日本学術会議への第19期登録団体へ申請業務支援。
9月12日に、登録通知受領。

【行事委員会所管】 (委員長 福田 豊)**1. 第17回全国大会の実施。**

実行委員長 田中 善一郎(東京工業大学社会理工学研究科長)

[開催期日] 平成14年9月26日(木) 10:00~17:00

9月30日(土) 10:00~17:30

[会 場] 東京工業大学 大岡山キャンパス

[開催校] 東京工業大学

[統一テーマ] 『環境としての情報空間』~その課題とデザイン~

2. 研究会の開催。**(1) 定例研究会の開催**

□ 第81回 日 時 平成13年11月27日(火) 13:30~17:00

場 所 トッパン・フォームズ(株) FDC:セミナールーム

テ マ 「デジタルデバイトとはなにか」

講演-1 「デジタルデバイトとはなにか」

~ PACSとしての情報ネットワーク社会を構想する問い~

早稲田大学理工学部助教授 木村 忠正

講演-2 「デジタルデバイトとはなにか」

東京大学社会情報研究所 教授 橋本 良明

コーディネータ 東洋大学 教授 松行 康夫

- 第82回 日 時 平成14年1月29日(火) 14:30～17:00
場 所 中央大学駿河台記念館510号室
テーマ 「農村のIT化～郡上村(仮称)の事例」
東京経済大学コミュニケーション学部 教授 池宮 正才
コメンテータ 東京経済大学 教授 田村 紀雄
コーディネータ 電気通信大学 教授 福田 豊
- 第83回 日 時 平成14年3月11日(月) 14:30～16:30
場 所 ジャパンシステム(株)
テーマ 「通信・放送融合の現状と見通し」
総務省情報通信政策局情報通信政策課長 吉崎 正弘
コーディネータ 電気通信大学 教授 福田 豊
- 第84回 日 時 平成14年6月5日(水)14:30～16:30
場 所 (株)NTTドコモ 会議室
テーマ 「電子県庁を目指して」
～取り組み事例:施設予約システム等～
コーディネータ 横須賀市企画調整部副部長 廣川 聡美
- 第85回 日 時 平成14年7月23日(火)14:30～16:30
場 所 東京工業大学 大岡山
テーマ 「デジタルネットワークと公共圏」
～サイバースペースのポテンシャル～
大妻女子大学 助教授 干川 剛史
コーディネータ 聖徳大学 助教授 五藤 寿樹

(2) 現地研究会の開催

第46回現地研究会

日 時 平成14年1月21日(月)13:30～16:30

会 場 板橋区立「文化会館」

テーマ]「IT革命に対応した板橋区の情報システムへの取り組みと今後の課題」

(1) 電子区役所の推進について

企画部IT推進課長 浅井 浩

(2) 介護情報提供事業～携帯電話を利用した情報提供

健康生きがい部おとしより保健福祉センター所長 浅島 和夫

(3) 板橋区公式ホームページの再構築について

企画部広聴広報課長 渡邊 茂

(3) 情報政策研究会

- 第1回 日 時 平成13年12月4日(火) 14:00～16:00

場 所 グランドアーク半蔵門「華の間」

テーマ 「IT革命と日本の経済構造改革」

経済産業省文化情報関連産業課長 岸本 周平

*本研究会は、「電子文書電子申請推進協議会」との共催となっております。

- 第2回 日 時 平成14年6月13日(木)14:30～16:30

場 所 ジャパンシステム(株) 2階・第一会議室

テーマ 「電子自治体構築への推進諸施策について」

～現状と今後の方向性～

(財)地方自治情報センター 林 克己

総合行政ネットワーク全国センター長 / 研究開発部長

- 第3回 日 時 平成14年9月12日(木)14:00～16:00

場 所 ジャパンシステム(株) 2階・第一会議室

テーマ 「インターネット時代の著作権」

～「1億総クリエイター」「1億総ユーザー」の時代への対応～

文化庁著作権課長 岡本 薫

[学術委員会所管] (委員長 遠藤 薫)

[1] 学術委員会の開催。(6回)

開催日 (13.12.13 / 14.2.18 / 14.3.25 / 14.5.16 / 14.7.9、 / 14.9.6)

[2] 構成。

委員長 遠藤 薫(東京工業大学)

副委員長 刀川 眞(NTTデータ)

委員 広松毅(編集専門委員委員長)、小林宏一(文献選考委員長)、五藤寿樹(編集専門委員会副委員長 論文審査内規担当)、刀川眞(編集専門委員会副委員長 論文審査総括担当)、中嶋聞多(編集専門委員会副委員長 編集担当)、阿部昭博(チュートリアル担当)、和泉潤、富山慶典、國藤進、氷鮑揚四郎、赤堀侃司、松川淳子、佐藤佳弘、安藤朋之、岡部鉄男、多賀谷一照、渡部栄、玉井克哉、島田達巳、根本敏則、寺野隆雄、新川達郎、山本佳世子、太田敏澄、松井啓之、熊田禎宣、福田豊、小菅敏夫、増田祐司(研究促進委員会委員長)、須藤修、真田英彦、山中守、坂野達郎(JSTデータベース担当)

学術委員会のもとに以下の専門委員会をおいた。

1. 編集専門委員会 委員長 廣松毅(東京大学)
2. 文献選考委員会 委員長 小林宏一(東京大学)
3. 研究促進委員会 委員長 増田祐司(島根県立大学)

[3] 事業・業務内容。

1. 学会誌の発行

学会誌(13巻2号)を2002年3月に刊行。

学会誌(14巻1号)を2002年7月に刊行。

- 学会誌(14巻2号)は2002年11月に刊行予定。

審査中の論文は9月6日時点で9本である。

論文投稿数はきわめて増加している。

論文執筆要領について従来の不備を補う改正を行った。

2. 学会誌の構成に関する検討

従来、学会誌に掲載されるものは、「論説」(依頼)と投稿論文だけだったが、査読なし(審査はあり)の投稿「事例研究」も掲載した。

3. 優秀文献の選考

昨年度全国大会における研究発表賞の審査を行い、3名に賞を与えることとした

本年度学位論文賞は、選考の結果、1名(修士論文)に与えることとした。その他に、奨励賞3名を選出した。

本年度優秀論文賞は、審議の結果、該当なしとした。

本年度優秀文献賞は、審議の結果、該当なしとした。

4. 研究部会

平成14年度は以下の研究部会が活動を行った

社会情報理念部会(主査 太田敏澄)

社会情報理論部会(主査 遠藤薫)

生活情報化研究部会(主査 福田豊)

高度ネットワーク研究部会(主査 三木哲也)

福祉情報システム研究部会(主査 金政信)

地域プラットフォーム形成による地域社会支援型の情報環境整備に関する研究部会

(主査 熊田禎宣)

5. 学会発表データベースの移行

- 現在、JSTへの学会発表データベースの移行作業が進行中である。本年度は試験期間となるが、来年度からは学会員へのサービス向上が期待される。

6. 横断型基幹科学技術研究団体連合への参加の検討

- 横断型基幹科学技術研究団体連合への参加を検討し、委員会として承認した(2002.9.6)。

[4] 検討事項。

□ チュートリアル開催に関する検討

学会によるチュートリアル開催について検討した。次年度実現へ向けてさらに検討を重ねる。

【表彰委員会所管】(委員長 小菅 敏夫)

平成14年度の学会賞について、学会表彰規則にもとづき、表彰委員会および学術委員会からの推薦候補を理事会で審議し、下記の通り表彰者個人・団体が決まった。

1. 学会功労賞

秋山 穰 (東京都立科学技術大学 名誉教授)

2. 社会情報システム貢献賞

団体 静岡県 (代表 知事 石川 嘉延)

3. 優秀文献賞 該当著作なし

4. 優秀論文賞 該当論文なし

5. 論文奨励 該当論文なし

6. 大学院学位論文賞

1) 修士論文部門 3点

大学院学位論文賞

金 相集 (東京工業大学)

「インターネットとマスメディアの相互作用が世論形成に及ぼす影響に関する考察

- 「落選運動」の新聞報道とインターネット電子掲示板の書き込みの比較分析を中心に—

大学院学位論文賞(奨励賞)

小林伸睦 (電気通信大学)

「情報化社会におけるWinner-Take-All現象に関する事例調査と消費者モデルの構築」

- 音楽市場を題材として—

大学院学位論文賞(奨励賞)

中村 直行

「ネット上における癌代替療法情報の問題点と改善案」

2) 博士論文部門 1点

・大学院学位論文賞 藤原 博彦 (筑波大学)

「企業ディスクロージャーの変容」

7. 研究発表賞 3点

(第16回全国大会研究発表)

桃塚 薫 (東京工業大学)

「組織におけるオルト・エリートと集団間コミュニケーションについて」

福井将人・坂井滋和 (早稲田大学)

「新たなコミュニティ形成システムの提案とその学習効果について」

杉本 宏史・国藤進 (北陸先端科学技術大学院大学)

「利用者に知識提供を意識させない知識共有システムの提案」

【支部活動】

【関西支部】

1. 実行・運営委員会

開催日 2001年12月8日(土)

会場 大阪市立大学 杉本キャンパス

2. 研究会

1) 関西支部第6回研究会

開催日 2001年12月8日(土)

会場 大阪市立大学 杉本キャンパス

統一テーマ 「e社会のひろがりと情報管理」

研究発表 5件

2) 関西支部第7回研究会

開催日 2002年7月6日(土)

会場 大阪大学 待兼山会館

統一テーマ 「ネット情報の活用と管理」

研究発表 5件

[九州支部]

1. 第5回支部総会

開催日 2001年12月8日(土)
会場 九州産業大学経営学部

2. 研究会

1) 第13回定例研究会

開催日 2001年12月8日(土)
研究発表 2件
会場 九州産業大学経営学部

2) 第14回定例研究会

開催日 2002年3月29日(金)
会場 ジャパンシステム(株)九州営業所
研究発表 3件

3) 第15回定例研究会

開催日 2002年8月9日(金)
会場 博多全日空ホテル
研究発表 3件

[中部支部]

1. 平成14年度支部総会

開催日 2001年12月9日(日)
会場 名古屋産業大学

2. 運営委員会

・第3回運営委員会

日時:平成13年11月21日(水)17時~18時
場所:名古屋産業大学3号館3階環境経営研究所
・第4回運営委員会(持ち回り)

3. 研究会

□ 情報通信が支える保健・医療・福祉のまちづくり研究会

・第3回研究会 日時:平成13年12月12日(水)18:00~

場所:愛知県厚生連 足助病院 講義室
講師:田村俊世(国立長寿医療研究センター老人支援機器開発部部長)
演題:身体的拘束ゼロへの取り組みと福祉機器の役割

・第4回研究会 日時:平成14年2月7日(木)18:00~19:30

場所:愛知県厚生連 足助病院 講義室
講師:林 良一(市立岡谷病院副院長)

演題:パーキンソン病の病態と疫学

・第5回研究会 日時:平成14年4月4日(木)14:00~15:30

場所:愛知県産業貿易館 西館6階<視聴覚室>
講師:井上恵太(株式会社コンボン研究所所長)

演題:21世紀の研究課題 - コンボン研究所の考えていること -

・第6回研究会 日時:平成14年6月10日(月)15:00 - 17:45

場所:愛知県産業貿易館 西館6階<視聴覚室>
講師:磯部友彦(中部大学工学部土木工学科助教授)

演題:交通からみた福祉のまちづくりについて

・第7回研究会 日時:平成14年9月6日(金)18:00 - 19:35

場所:足助町公民館内「飯盛座」
講師:武藤芳輝(東京大学大学院教育学研究科身体教育学講座教授)
演題:転倒防止事業の理論と実践

4. ニュースレター

第2号:平成14年4月3日発行

第3号:平成14年9月発行

【第2号議案 平成14年度収支決算】

日本社会情報学会 平成14年度収支決算
(自 平成13年10月1日 至 平成14年9月30日)

[収入の部]

科目	予算	実績	対予算
正会員会費			
個人会員	2,700,000	2,517,000	-183,000
団体会員	3,600,000	2,850,000	-750,000
準会員	30,000	21,000	-9,000
(会費計)	6,330,000	5,388,000	-942,000
雑収入	30,000	43,550	13,550
収入合計	6,360,000	5,431,550	-928,450
前年度繰越高	1,700,720	1,700,720	0
合計	8,060,720	7,132,270	-928,450

[支出の部]

科目	予算	実績	対予算
1. 学会誌印刷費	1,600,000	1,254,300	-345,700
2. 研究会開催費	600,000	383,920	-216,080
3. 全国大会補助金	150,000	150,000	0
4. 分科会補助金	300,000	200,000	-100,000
5. 学会賞作成費	150,000	76,306	-73,694
6. 会員名簿作成費	100,000	131,008	31,008
7. 通信費	800,000	703,820	-96,180
8. 印刷費	600,000	356,429	-243,571
9. 事務費	2,600,000	2,581,940	-18,060
10. 備品費	50,000	74,809	24,809
11. 会議費	200,000	120,360	-79,640
12. 消耗品費	50,000	74,722	24,722
13. 雑費	10,000	19,216	9,216
14. 支部補助金	150,000	150,000	0
15. 予備費	100,000	35,000	-65,000
支出合計	7,460,000	6,311,830	-1,148,170
次年度繰越高	600,720	820,440	219,720
合計	8,060,720	7,132,270	-928,450

この平成14年度の収支決算について、監査の結果、収支決算が正確であることを証する。

平成14年10月10日

監査人 一瀬 智司

監査人 加藤 茂

【第3号議案 平成15年度事業計画】

【総務委員会所管】(委員長 根本 敏則)

[1] 総務委員会の開催。(年間3回以上)

1) 年初 開催日 14.11.

審議内容 年度方針・実施計画、委員構成等の審議。

2) 3月初旬 3月開催の「評議員会」「理事会」前。

審議内容 評議員会運営、理事会への提案事項と運営、
下半期の実施内容等。

3) 8月初旬 9月開催の「会員総会」前。

審議内容 総会運営、最終回理事会への提案事項と運営、
年度実施報告・収支決算、次年度事業計画・収支予算等。

以上の他、必要に応じて開催する。

[2] 構成。(案)

* 総括 副会長 太田 敏澄

	氏名・所属機関	主たる担当
委員長	根本 敏則(一橋大学)	全体行事調整・統括
副委員長	武藤 茂 (ジャパンシステム)	会議体運営、対外折衝、会員増強
委員	村上 幸榮 (日本フードサービス)	財務関係、予算決算
委員	梅原 寿夫 (東洋オフィスメーション)	HP管理、普及活動
委員	露崎乃里子 (東洋オフィスメーション)	HP作成・メンテナンス
委員	平林 幹朗 (学会事務局)	会計、会費、会員管理、行事通知、規則、事務局
委員	大西末里子 (NTTデータ)	会議体・事務局補助
委員	坪井 利憲 (東京工科大学)	全国大会関係
委員	斉藤 均 (NTTドコモ)	全国大会関係
委員	味水 佑毅 (一橋大学)	委員長事務、委員会事務

* 必要に応じて、委員を追加する。

* 主要会議体(理事会、評議員会、総会)の運営については、理事会への提案による決定にもとづき役割を分担し実施する。

[3] 事業・業務内容。

1. 運営。

総務委員会は、学会事務局内へ置く。 * 全国大会開催事務局との連携。

各委員会、各支部との連携による運営。

2. 主要会議の開催。(業務:通知文、通知、出欠、資料、議事録、会場確保・設営)

理事会(年5回:11月、1月、3月、7月、9月)

* 各委員会からの議題・報告の事前確認。

常任理事会(随時)

評議員会(年1回: 月 日) * 見直し検討

* 区分別評議員の選出(変更・新規)確認。(1月)

会員総会(全国大会開催日の初日) * 8月開催理事会にて、議案決定。

3. 諸規則の整備。

規則集の作成と関係役員への配布。

主要規則のホームページへの掲載(依頼)。

・定款、会員規則、会費規則、学会誌投稿関係規則類。

4. 学会通信の発刊(年3回:12月、4月、8月) * Vol.18-1.2.3

5. 財務管理。(予算・決算)

平成15年度収支決算。(月度決算)

平成16年度収支予算案の作成。(7月及び9月開催理事会へ提案)

6. 会費の徴収。(予算・決算)

平成15年度・会費の請求。(12月)

過年度未納者への請求。(12月末)

未納者への督促・再請求。(5月、8月)

7. 会員管理。(既存会員・新入会員、退会会員)
 - 会員の確認。(会員種別:個人正会員、団体正会員、準会員)
 - 会員管理業務の電子化による正確性と対応の迅速化。
 - 学会概要(入会案内)の作成。・HPへのダウンロード可能対応。
 - 会員増強策
 - 理事選挙業務支援。
8. その他。
 - * 各種通知業務の効率化。(会員種別宛名シール、メールの活用)
 - * 学会ロゴの検討。

[行事委員会所管] (委員長 福田 豊)

1 メンバー構成

委員長推薦のコアメンバーと、会員からの応募によるメンバーからなる委員会を構成し、活動力を高める。

2 委員会開催(3回)

(1)方針

各研究会の担当(委員構成)明確化による運営

(2)審議事項

年間スケジュール

各研究会の企画立案

テーマ・形式 講師の折衝(依頼状、発表方法、配布資料) 会場 案内方法

当日の運営と報告書作成について

(3)日程 未定

3 事業内容

(1)第18回全国大会の開催

次期開催校 東京工科大学 日程未定

(2)定例研究会企画実施(年間5回)

11月 01月 03月 05月 07月

*この中には従来の現地研究会を含むものとする

(3)情報政策研究会(年間5回)

12月 02月 04月 06月 08月

*年間5回開催予定の情報政策研究会については、4回を一般会員にもオープンにし

(ただし団体会員を優先受付)、1回は団体会員向けのものにする。

(4)大学院生対象の定例研究会を試行的に開催する

(5)その他

委員会名称を「企画委員会」に改称する

外部に対する普及活動

・各種研究会等の開催スケジュールをホームページで公開

・他学会主催研究会等への参画(後援・共催・協賛等)

[学術委員会所管] (委員長 遠藤 薫)

[1]学術委員会の開催

平成15年度 第1回 平成14年10月31日(木)以降、年5回以上開催する。

[2]構成

委員長 遠藤 薫(東京工業大学)

副委員長 刀川 眞(NTTデータ)

委員 広松毅(編集専門委員委員長)小林宏一(文献選考委員長)五藤寿樹(編集専門

委員会副委員長 論文審査内規担当) 刀川真(編集専門委員会副委員長 論文審査総

括担当) 中嶋閻多(編集専門委員会副委員長 編集担当)阿部昭博(チュートリアル

担当) 増田祐司(研究促進委員会委員長) 坂野達郎(JSTデータベース担当)他

学術委員会のもとに以下の専門委員会をおく

- 1) 編集専門委員会 委員長 廣松毅(東京大学)

- 2) 文献選考委員会 委員長 小林宏一(東京大学)
- 3) 研究促進委員会 委員長 増田祐司(島根県立大学)

[3] 事業・業務内容

1. 学会誌の発行
年2回の刊行を定常化し、さらに発行回数の増加をはかる
2. 学会誌の構成に関する検討
多様なジャンルを検討する
3. 優秀文献の選考
全国大会における研究発表賞の審査を行う
学位論文賞の選考
優秀論文賞の選考。
優秀文献賞の選考。
4. 研究部会
平成15年度は以下の研究部会が申請中である
環境情報部会(主査 太田敏澄)
複合情報環境研究部会(主査 遠藤薫)
地域プラットフォーム形成による地域社会支援型の情報環境整備に関する研究部会
(主査 熊田禎宣)
5. 学会発表データベースの移行
さらに学会員へのサービス向上が期待される。
6. 断型基幹科学技術研究団体連合への参加
7. 学会主催のチュートリアル・シンポジウムの開催へ向けて検討する

【表彰委員会所管】 (委員長 小菅 敏夫)

- 1 事業内容
平成15年度の学会賞について、表彰に関する諸規程に基づき、事業の活性化を図りながら次の表彰事業を実施する。
学会功労賞 大学院学位論文賞
優秀文献賞 社会情報システム貢献賞
優秀論文賞 研究発表賞
論文奨励賞
- 2 運営 専門委員会
次の専門委員会を設置して行う。
功労選考委員会 (学会功労賞および社会情報システム貢献賞)
文献論文選考委員会 (優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞、大学院学位論文賞、
および研究発表賞)
- 3 事業日程等
表彰候補者の推薦
推薦公募のお知らせは、学会通信への公示によりおこなう。
なお、研究発表賞は、全国大会の研究発表の中から選考する。
表彰の実施
全国大会の会員総会において行う。

【支部活動】

関西支部、九州支部、中部支部の各支部は、それぞれの支部会則に基づき、年度事業計画を策定し、事業の積極的展開を推進していく。
各支部の事業計画については、それぞれ決定次第、学会通信および学会ホームページを活用し、周知をはかるほか、各支部の会報等で会員への周知をはかる。

【第4号議案 平成15年度収支予算】**日本社会情報学会 平成15年度収支予算**

(自 平成14年10月1日 至 平成15年9月30日)

[収入の部]

科 目	予 算
正会員個人会員	2,700,000.
正会員団体会員	3,600,000.
準会員	30,000.
会 費 計	6,330,000.
雑 収 入	30,000.
収入合計	6,360,000.
前年度繰越高	820,440.
合 計	7,180,440.

[支出の部]

科 目	予 算
1. 学会誌印刷費	1,600,000.
2. 研究会開催費	400,000.
3. 全国大会補助金	150,000.
4. 分科会補助金	200,000.
5. 学会賞作成費	150,000.
6. 会員名簿作成費	0.
7. 通信費	600,000.
8. 印刷費	500,000.
9. 事務費	2,600,000.
10. 備品費	50,000.
11. 会議費	100,000.
12. 消耗品費	30,000.
13. 雑費	10,000.
14. 支部補助金	150,000.
15. 予備費	100,000.
支出合計	6,640,000.
次年度繰越金	540,440.
合 計	7,180,440.

【第5号議案 常任委員会の名称変更】

定款36条(委員会の設置)の項で、常設されている行事委員会の名称を企画委員会と改称する。

* 定款内容の変更については、理事会の承認を経て、総会で決定する。

平成 14 年度日本社会情報学会・学会賞推薦事由

<平成 14 年 9 月 26 日表彰>

[日本社会情報学会 平成 14 年度・学会功労賞]

秋山 穰 殿 (東京都立科学技術大学 名誉教授 / 前学会・会長)

貴殿は、昭和 63 年に設立された本学会の前身である日本都市情報学会発足以来、現日本社会情報学会において 17 年間にわたり、会長職を努められました。その間、社会情報学に関わる諸課題に対し、常に前向きに、かつ、献身的に取り組んでこられ、学会はもとより、行政分野や産業分野など幅広い諸分野に多大な貢献をされました。

また、卓越した指導力を発揮され、会員の啓発へ尽くされ、今日の日本社会情報学の基盤を確たるものにされました。

以上、貴殿の社会情報学への先進的・指導的な取り組みとその学会活動への貢献に対して深甚なる敬意を表し、ここに、日本社会情報学会・学会功労賞を贈り表彰します。

[日本社会情報学会 平成 14 年度・社会情報システム貢献賞(団体)]

静岡県 殿 (代表者 知事 石川 嘉延)

貴県は、行革のトップランナーを目指した行財政改革に取り組み、目的指向型の運営を実現し、簡素で効率的なフラット行政組織を構築されました。

貴県の電子行政を推進した先進的な取り組みに対して深甚なる敬意を表わし、ここに日本社会情報学会・社会情報システム貢献賞(団体)を贈り表彰します。

[日本社会情報学会 平成 14 年度・大学院学位論文賞(修士論文)]

金 相集 殿 (東京工業大学大学院)

「インターネットとマスメディアの相互作用が世論形成に及ぼす影響に関する考察」

・「落選運動」の新聞報道とインターネット電子掲示板の書き込みの比較分析を中心に

<推薦理由>

本論文は、2000 年の韓国国会議員選挙中に高まった「不適格な政治家を落選させようとした」市民運動としての「落選運動」に焦点をあて、この運動をめぐる新聞報道とインターネット(BBS)上での発信内容を分析しつつ、既存メディアとしての新聞とニューメディアとしてのインターネットとの関係を明らかにしようとしたものである。本論文に対しては、世論ないし公共圏の形成過程においてマスメディアが果たす役割とインターネットの役割を相互作用の相のもとで分析すると言う困難な課題に挑戦し、所記の成果をあげ得ていることに高い評価が与えられた。

[日本社会情報学会 平成 14 年度・大学院学位論文賞・奨励賞(修士論文)]

小林 伸睦 殿 (電気通信大学大学院)

「情報化社会における Winner-Take-All 現象に関する事例調査と消費者モデルの構築」

—音楽市場を題材として—

<推薦理由>

本論文は、限られた財やその供給者に消費者の選択が集中するいわゆる Winner-Take-All 現象に注目し、こうした現象の説明要因としてのネットワーク外部性、規模の経済性が妥当しない音楽市場においては、限られた情報がさまざまなチャンネルを介して大量に流通するという情報の偏りによりこの現象が生ずることをシミュレーション分析によって明らかにしている。

本論文に対しては、結論にいたる立論の堅実さ、情報化の進展(情報チャンネル)の進展が、通常考えられるように情報の多様化ひいては消費の多元化をもたらすのとは逆に Winner-Take-All 現象を帰結すると言う興味深い所見を明らかにした点が評価された。

[日本社会情報学会 平成14年度・大学院学位論文賞・奨励賞（修士論文）]**中村 直行 殿（東京大学大学院）****「ネット上における癌代替療法情報の問題点と改善案」**

< 推薦理由 >

本論文は—正統医療に対置される—いわゆる代替医療情報、補完代替医療情報のうち、癌に関するそれに焦点を当て、この種情報が求められる背景を検討したうえで、論文執筆者が実際に主宰している NPO 組織「救命促進情報センター」に寄せられた相談、インターネット上で提供されている癌代替医療情報の分析を通して、権威ある機関による情報検証ネットワークの必要性、代替医療情報の判定基準の策定やサイトの認証機構の設立等を提案したものである。

この論文に対しては、自らの実践を通して得られた的確な知見を基盤にして、地に着いた分析と提案がなされている点が評価されるとともに、論文執筆者による上記「救命促進情報センター」での実践活動への期待も寄せられた。

[日本社会情報学会 平成14年度・大学院学位論文賞・奨励賞（博士論文）]**藤原 博彦 殿（東京大学大学院）****「企業ディスクロージャーの変容」**

< 推薦理由 >

本論文は、変化する経営環境のもとで、法令により強制されてきた従来の企業ディスクロージャーに加え、コーポレートガバナンス、アカウンタビリティの拡張を目指す—企業と社会との双方向関係を念頭に置いた—任意企業情報ディスクロージャーが求められているとの認識に立って、こうしたディスクロージャーをデータベース・ディスクロージャーとして進めることの可能性を検討し、新たな企業ディスクロージャーを提案したものである。

本論文については、企業ディスクロージャー概念の展開についての詳細な分析が加えられている。今後この分野に及ぶであろうインターネットのインパクトに関し先行的な理論的検討が加えられている点が評価された。

[第16回全国大会研究発表賞]

発表表題：「組織におけるオルト・エリートと集団間コミュニケーションについて」

発表者：桃塚薫（東京工業大学）

発表表題：「新たなコミュニティ形成システムの提案とその学習効果について」

発表者：福井将人・坂井滋和（早稲田大学）

発表表題：「利用者に知識提供を意識させない知識共有システムの提案」

発表者：杉本宏史・國藤進（北陸先端技術大学院大学）

標記の研究発表賞は、第16回全国大会研究発表を対象として選考済みです。

（学会通信 Vol.17-1 2001.12.15 掲載）

* 受賞者の発表要旨は、「第16回全国大会研究発表論文集」に掲載。

平成15年度第1回理事会報告

日 時 平成14年11月21日(木) 17:30~20:00

場 所 ジャパンシステム(株) 2階 第一会議室

[出席者] 清原会長、遠藤副会長・学術委員長、福田企画委員長、五藤理事、田中(啓)理事、
前田常任理事、武藤理事・総務副委員長、平林理事・事務局長
(出席8+委任25 33/50)
一瀬監査役 総務委員:梅原 HP 部会長、大西委員、味水委員

[議 事]**1. 常任委員会の構成について。**

- ・ 清原会長より、平成15年度事業計画の方針(案)と役員体制について、報告がなされた。
- ・ 武藤総務副委員長より、総務委員会の構成について報告があり、承認された。
- ・ 遠藤学術委員長より、学術委員会の構成について報告があり、承認された。
- ・ 福田企画委員長より、企画委員会の構成について報告があり、承認された。
- ・ 平林事務局長より、表彰委員会の構成について報告があり、承認された。

2. 各委員会の運営および事業実施計画について。

- ・ 武藤総務副委員長より、総務委員会の開催、事業・業務運営、学会通信の発行、会費の徴収、理事選挙管理委員会、ホームページ部会などについて報告があり、承認された。
- ・ 遠藤学術委員長より、学術委員会の開催、事業・業務内容、研究部会などについて報告があり、承認された。
- ・ 福田企画委員長より、企画委員会の事業実施計画(情報政策研究会の開催等)などについて報告があり、承認された。
- ・ 平林事務局長より、表彰委員会の事業計画などについて報告があり、承認された。

*以上の計画については、再度、次回理事会にて年間実施を提案することとする。

3. 理事選挙管理委員会について。

- ・ 理事選挙管理委員会構成について、福田委員長(企画委員長)のほか、各委員会から武藤委員(総務委員会)、刀川委員(学術委員会)、村上委員(表彰委員会)、平林委員(学会・事務局長)が選出され、承認された。
- ・ 第2項において、「規則第6条にもとづく会長の推薦による理事」について、「25名」から「25名以内」とする変更が提案され、承認された。

4. その他、学会運営に関する事項。

- ・ 平林事務局長より、平成14年度収支決算、平成15年度収支予算、入退会会員、学会通信、について報告があり、承認された。
- ・ 清原会長より、第18回全国大会日程について2003年10月10日~11日開催が提案され、了承された。
- ・ 遠藤学術委員長より、第17回全国大会の収支決算について報告があり、了承された。
- ・ 次回の理事会を2003年1月23日に開催することが提案され、了承された。

以上
(記 味水)

平成14年12月15日

**日本社会情報学会
第6回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い**

日本社会情報学会
会長 清原 慶子

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成14年4月1日～平成15年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきましての表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となっていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

- 1. 受付期限 平成15年4月21日(月)(必着)
- 2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-3-1-24
日本社会情報学会事務局
TEL 03-3795-8511 FAX 03-3795-9911
- 3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
- 4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
- 5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続き中の方も、ご推薦戴くことができます。この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名] _____
大学 _____ 研究科 _____
専攻 _____

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

[受付] 平成 年 月 日

受付者氏名

研究会報告

[平成14年度 第1回情報政策研究会]

- 日時 平成14年12月6日(金) 15:00~17:30
会場 中央大学駿河台記念館 「320号室」 3階
講演・1 『GISをめぐる国の取組みについて』 岩本 千樹 氏
国土交通省国土計画局国土情報整備室長
講演・2 『総務省の地域情報化政策について』 山根 悟 氏
総務省情報通信政策局地域通信振興課長

委員会報告

[総務委員会]

[1]第2回理事会開催通知。

- 日時 平成15年1月23日(木) 18:00~19:30
会場 大橋会館(東急池尻大橋駅より徒歩3分)
議事 1.理事選挙について。 2.評議員会開催について。
3.第18回全国大会について。

[2]平成15年度会費および過年度未納会費の請求。

[3]会員への行事案内等の通信業務のメール化・FAX化検討。→次回理事会へ提案。

[企画委員会]

研究会の年間開催計画の検討。→次回理事会へ提案。

[学術委員会]

[1]学術委員会所管の平成15年度研究部会の継続・新設検討。→次回理事会へ提案。

[2]学会発表データベースの移行。

「全国研究発表論文集」が移行され、学会員へのサービス向上が期待される。

<<http://info.jstage.jst.go.jp/contents/info/list/jp.html>>

[3]横断型基幹科学技術研究団体連合への参加。

JST異分野研究者交流フォーラム「横断型基幹科学技術」(11.29~12.2)への参加。

参加者：太田副会長、遠藤副会長、刀川学術委員会副委員長

政策提言プログラム「横断型科学技術の役割と推進」第1回社会技術・環境分科会

(11.7)へ参加。 参加者：遠藤副会長

[4]「2003年情報学シンポジウム」への共催/後援。

「2003年情報学シンポジウム共催/後援団体実行委員」：遠藤副会長

[5]学会主催のチュートリアル・シンポジウムの開催へ向け検討。

□その前哨として、東工大・朝日カルチャーセンター主催の公開講座「社会情報学とはなにか～環境としての情報空間」を開催することとした。

*本案内を、この学会通信に同封しますので、多数のご参加をお待ちしております。

[表彰委員会]

第1回理事会で承認された表彰関係事業計画にもとづき、実施する。

第6回大学院学位論文賞の推薦公募を本学会通信へ掲載。

支部活動

各支部は、下記のとおり、総会および研究会を開催した。

[関西支部]

日 時 平成14年12月7日(土) 13:00~17:30
*17:30~ 懇親会

会 場 京都大学 芝蘭会館

平成15年度 運営委員会、会員総会

次期支部長の交代が提案され、真田英彦支部長の後任として、小郷直言氏(大阪大学)が選出された。

第8回研究会

統一テーマ「ネット社会における情報活用の拡充」により、6テーマの発表と特別報告がなされた。

[九州支部]

日 時 平成14年月6日(金) 13:00~17:30
*17:30 情報交換会

会 場 九州産業大学

平成15年度 運営委員会、会員総会

第16回定例研究会

3テーマの発表が行われた。

[中部支部]

平成15年度 会員総会

日 時 平成14年10月16日(水) 12:00~17:30

会 場 中電ホール会議室

平成15年度 運営委員会

日 時 平成14年10月5日(土) 13:00~15:00

会 場 名古屋産業大学

研究会(開催予定)

1)「情報通信が支える保健・医療・福祉のまちづくり研究会」

第8回(14.10) 第9回(14.12) 第10回(15.2)

第11回(15.4) 第12回(15.6)

2)「健康・福祉を中心とした情報ネットワークに関する研究会」(企画中)

3)「におい風県によるまちづくり研究会」(企画中)

* 各支部活動の詳細は、学会ホームページへ掲載の予定です。

事務局たより

平成14年度の各事業は、各会員の皆様のご協力により、例年になく充実した内容で終わることが出来ました。

また、事務局業務へも一方ならずご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

§会費納入のお願い

今年度の会費をご請求させて頂きましたので、よろしくご納入の手続きをお願い申し上げます。

過年度の会費がご事情により未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

また、今年度は理事選出選挙が行われます。過年度の会費が未納会員は選挙権も失いますのでご留意ください。主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

§会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。 宛先 FAX 03-3795-9911 E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

訃 報

本学会創立以来、17年間にわたり、会長を勤められた秋山穰氏が去る10月27日永眠されました。氏の学会への偉大なる貢献に対し感謝申し上げますとともに衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

日本社会情報学会 会員一同

秋山穰（東京都立科学技術大学名誉教授）氏は、下記の通り叙位叙勲を受けられました。

叙位 従四位に叙する。 叙勲 勲三等に叙し瑞宝章を授ける。

平成14年10月27日

<平成14年12月4日 官報 第3501号>